

シヨセツ中央学区
私書箱9029
ニューヨーク州シヨセツ 11791

障害のある子どもたちへの食事サービス

親愛なる保護者様へ:

全国学校給食プログラム(NSLP)と学校朝食プログラム(SBP)は、背景に関わらず、参加するすべての子どもたちに健康に必要な栄養豊富な食事を提供することを目指しています。これには、障害のある子どもたちがNSLPやSBPに参加し、恩恵を受ける平等な機会を確保することが含まれます。

連邦規則により、障害により食事制限ができ、提供される食品や予定されたメニューに何らかの変更がなければ、食事プログラムに完全に参加できない子どもに対して、学校や機関は追加料金なしで食事を提供することが義務付けられています。お子様が障害のために代替医療が必要だと考える場合は、詳細情報についてお問い合わせください。学校に食事の変更を依頼し、州の認可を受けた医療専門家または登録栄養士による医療証明書を学校に提出する必要があります。この医療声明には以下を含む必要がありますが、それに限定されません。

- 子どもの身体的または精神的障害に関する情報で、学校が子どもの食事をどのように制限しているかを理解できるもの、
- 子どもの特別な食事ニーズに対応するために何をすべきかの説明、
- 省略すべき食品や、修正された食事の場合は推奨される代替品

食事の変更の必要性についてご質問がある場合は、生徒人事サービス担当アシスタントスーパーテンデントのエリン・ゴールドスウェイト 氏(516-364-5616)までお問い合わせください。

差別禁止声明:不当な扱いを受けたと感じた場合にどうすべきかを説明します。

連邦の公民権法およびUSDAの市民権規制および方針に従い、USDAおよびその機関、事務所、職員、そしてUSDAプログラムに参加または運営する機関は、人種、肌の色、国籍、宗教、性別、障害、年齢、婚姻状況、家族・親の地位、公的扶助プログラムからの収入、政治的信念に基づく差別を禁止されています。または、USDAが実施または資金提供したあらゆるプログラムや活動における、以前の公民権活動に対する報復や報復(すべての基準がすべてのプログラムに適用されるわけではありません)。救済措置や苦情提出期限はプログラムや事件によって異なります。

プログラム情報の代替手段(例:点字、大字、オーディオテープ、アメリカ手話など)を必要とする障害者は、プログラムを運営する州または地方の機関に連絡するか、通信中継サービス(711(音声およびTTY))を通じてUSDAに連絡してください。さらに、プログラム情報は英語以外の言語で提供される場合があります。

プログラム差別苦情を提出するには、USDAプログラム差別苦情フォーム(AD-3027)をオンラインで「プログラム差別苦情の申し立て方法」およびUSDA事務所に提出するか、USDA宛ての手紙を書き、フォームで求められたすべての情報を記載してください。苦情フォームのコピーを請求するには、(866) 632-9992までお電話ください。以下で、記入済みのフォームまたは手紙をUSDAに提出してください:

- 一. 郵便
:米国農務省 公民権次官補室 1400 インディペンデンス・アベニュー, SW, 郵便 9410 ワシントンD.C. 20250-9410;または
- 二. ファックス:
(202) 690-7442;または
- 三. メール:
program.intake@usda.gov

この機関は機会均等の提供者です。